



いずみざき

平成27年
11月1日
発行

No.26

議会だより



輝く未来を子ども達へ



目次

2～5ページ・・・ 議会報告

6～7ページ・・・ 一般質問

8～9ページ・・・ 議会インフォメーション

10ページ・・・ 活動報告・編集後記

〔表紙：泉崎第二小学校〕

平成27年 第3回9月定例会報告

会 期：平成27年9月4日(金)
～9月10日(木)

議 案：認定4件、報告3件、議案14件

一般質問：9月8日(火) 2名



	提出議案 / 概要	可・否
認定第1号	<p>平成26年度泉崎村歳入歳出決算の認定について</p> <p>○一般会計 歳入総額65億2,585万2,497円 歳出総額61億2,255万2,630円 繰り越し明許による繰り越し財源 1億5,057万6,000円 実質収支2億5,272万3,867円の黒字決算となるもの。</p> <p>○国民健康保険特別会計 歳入総額8億429万7,211円 歳出総額7億8,901万9,093円 繰越財源352万2千円、実質収支1,175万6,118円の黒字決算となるもの</p> <p>○介護保険特別会計 歳入総額4億9,531万9,048円 歳出総額4億6,587万7,934円 繰越財源131万7,600円実質収支2,841万3,514円の黒字決算となるもの</p> <p>○後期高齢者医療特別会計 歳入総額5,720万3,732円 歳出総額5,270万41円 繰越財源94万円、実質収支356万3,732円の黒字決算となるもの</p> <p>○介護老人保健施設特別会計 歳入総額39万2,240円 歳出総額37万8,610円 実質収支1万3,630円の黒字決算となるもの</p> <p>○流通業施設用地造成事業特別会計 歳入総額5億4,146万8,600円 歳出総額5億4,146万8,600円 実質収支0円</p>	認定
認定第2号	<p>平成26年度泉崎村水道事業会計決算の認定について</p> <p>収益的収入2億4,738万2,264円、収益的支出2億1,978万5,042円、資本的収入454万8千円、資本的支出9,325万7,331円であり、損益計算においては、2,759万7,222円の純利益となるもの。</p>	認定
認定第3号	<p>平成26年度泉崎村工業用地造成事業会計決算について</p> <p>収益的収入112万4千円、収益的支出7億432万2,059円、資本的収入1億9千万円、資本的支出1億9,178万8,106円であり、損益計算においては、7億319万8,059円の純損失</p>	認定
認定第4号	<p>平成26年度泉崎村住宅用地造成事業会計決算について</p> <p>収益的収入1億818万4,380円、収益的支出3億529万9,754円、資本的収入7,500万円、資本的支出1億4,673万円であり、損益計算においては、1億9,711万5,374円の純損失</p>	認定
報告第3号	<p>平成26年度決算に基づく健全化判断比率等の状況について</p> <p>実質公債比率 9.2% (前年度9.2%) 3ヶ年平均 将来負担比率 58.1% (前年度64.6%) 前年度より6.5ポイント減少</p>	報告

報告第4号	村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成26年度の泉崎観光株式会社の第26期の経営状況の報告を受けたもの。	報	告		
報告第5号	平成26年度白河地方土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成26年度の白河地方土地開発公社の経営状況の報告を受けたもの。	報	告		
議案第41号	泉崎村職員の特殊手当に関する条例の一部を改正する条例 病院の設置等に関する条例の廃止に伴い、医療職員の特殊勤務手当及び、交代制夜間業務に従事する職員の特殊勤務手当を廃止するよう本条例の所要の改正を行うもの。	原 可	案 決		
議案第42号	泉崎村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 新たに設置する地域創生・人口減少対策委員会の委員報酬を規定するため、所要の改正を行うもの。	原 可	案 決		
議案第43号	泉崎村個人情報保護条例の一部を改正する条例 社会保障・税番号制度の導入に伴い、特定の個人情報の適正な取り扱いを確保するため泉崎村個人情報保護条例の所要の改正を行うもの。	原 可	案 決		
議案第44号	泉崎村手数料条例の一部を改正する条例 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料について規定するため、所要の改正をするもの。	原 可	案 決		
議案第45号	泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例 平成27年9月30日付けで有効期限を迎えることから、引き続き都橋、天王台の販売を促進させるため、更に6か月延長するもの。	原 可	案 決		
議案第46号	泉崎村地域開発事業に係る土地売却に伴う清算について 泉崎村地域開発事業の設置等に関する条例第8条に基づき、地域開発事業の資産処分に伴う清算を行うもの。	原 可	案 決		
議案第47号	泉崎村役場庁舎建設本体工事請負契約の変更について 泉崎村役場庁舎建設本体工事について、福島県総合情報通信ネットワーク移設工事を組み換えするなど工事の一部を変更するため、当該工事の変更契約を行うもの。当初請負契約金額から2,087万3,160円を減額し、9億5,523万840円とする。	原 可	案 決		
議案第48号	平成27年度泉崎村一般会計補正予算(第2号) <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">歳 入</p> <p>財政調整基金繰入金 1億3,724万2千円</p> <p>障害児通所支援事業国庫負担金 235万5千円</p> <p>諸収入コミュニティ助成事業 340万円</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">歳 出</p> <p>役場庁舎本体工事請負費 2,087万3千円</p> <p>福祉送迎用公用車 345万円</p> <p>防災拠点施設整備事業基本設計委託料 300万円</p> </td> </tr> </table> <p>歳入歳出それぞれ6,825万6千円を追加し、予算総額73億1,564万4千円とするもの</p>	<p style="text-align: center;">歳 入</p> <p>財政調整基金繰入金 1億3,724万2千円</p> <p>障害児通所支援事業国庫負担金 235万5千円</p> <p>諸収入コミュニティ助成事業 340万円</p>	<p style="text-align: center;">歳 出</p> <p>役場庁舎本体工事請負費 2,087万3千円</p> <p>福祉送迎用公用車 345万円</p> <p>防災拠点施設整備事業基本設計委託料 300万円</p>	原 可	案 決
<p style="text-align: center;">歳 入</p> <p>財政調整基金繰入金 1億3,724万2千円</p> <p>障害児通所支援事業国庫負担金 235万5千円</p> <p>諸収入コミュニティ助成事業 340万円</p>	<p style="text-align: center;">歳 出</p> <p>役場庁舎本体工事請負費 2,087万3千円</p> <p>福祉送迎用公用車 345万円</p> <p>防災拠点施設整備事業基本設計委託料 300万円</p>				

議案第49号	平成27年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 規定の歳入歳出予算の総額8億9,217万5千円に397万円を増額し、歳入歳出の予算の総額を8億9,614万5千円とするもの。	原可	案決
議案第50号	平成27年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 規定の歳入歳出予算の総額4,759万4千円に356万2千円を増額し、歳入歳出の予算の総額を5,115万6千円とするもの。	原可	案決
議案第51号	平成27年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第1号) 介護給付費準備基金積立金640万5千円、国庫支出金返還金1,752万9千円、一般会計繰出金397万9千円を増額補正計上するもの。	原可	案決
議案第52号	平成27年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号) 処理場修繕工事請負費665万3千円、公課費140万円、一般会計繰出金700万円を増額補正計上するもので、歳入歳出それぞれ1,505万3千円を追加し、予算総額を2億1,703万9千円とするもの。	原可	案決
議案第53号	平成27年度泉崎村工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号) 資本的支出において一般会計納付金91万3千円を補正計上するもの。	原可	案決
議案第54号	泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 泉崎村固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、委員を選任するため議会の同意を求めるもの。 住所 泉崎村大字関和久字富内 氏名 小林 昭 ○固定資産評価審査委員会 固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するため設けられた中立的な第三者機関のこと。	同意	

◎請願書

・国会審議中の「安全保障法制案」の廃案を求める請願書

提出者 花坂 三吉氏

～総務厚生常任委員会報告～

9月4日、本会議終了後、総務厚生常任委員会を開催し付託された請願書について審議いたしました。現在、国で審議中の法案に対し村議会で廃案を求める請願を出した場合、泉崎村の立場はどうなるのか、尖閣諸島問題を始め日本と近隣諸国の状況を見た時、本法制案が必要ではないか、本法制案の内容を理解しているか等、議論し結果、不採択としました。



決算総額 61億2,255万2,630円

平成26年度 決算を認定！

村では自主的財政再建計画に基づき、歳出の削減を図るなど、財政の健全化に向けた努力の跡が認められます。

今後、高齢化社会の進展などによる社会福祉費の増大、特別会計への繰出金、泉崎村役場庁舎建設や泉崎駅東口開発事業などの負担が見込まれる部分もあることから、長期的な視点に立つて健全なる財政運営に、より一層努められるよう望むものであります。

実質収支は2億5千2百72万3千8百67円の黒字となった。今後も収入の確保、経費の節減に努め自主的財政再建計画に基づき、各種事業の執行について十分に検討し、なお一層効率化に努められるよう強く望むものであります。

村では自主的財政再建計画に基づき、歳出の削減を図るなど、財政の健全化に向けた努力の跡が認められます。

今後、高齢化社会の進展などによる社会福祉費の増大、特別会計への繰出金、泉崎村役場庁舎建設や泉崎駅東口開発事業などの負担が見込まれる部分もあることから、長期的な視点に立つて健全なる財政運営に、より一層努められるよう望むものであります。

監査委員 意見



平成26年度 重点事業内容 (抜粋)

役場庁舎(イメージ)



役場庁舎建設事業 1億5,095万3,880円

- 役場庁舎用地取得事業 6,158万4千円
- 役場庁舎基本設計業務委託 1,053万円
- 役場庁舎実施設計業務委託 3,456万円
- 役場庁舎建設事業敷地造成工事 3,471万円
- 他

児童運動広場整備事業 330万4,800円

子育て世帯が安心して定住できる環境を整え子ども達の運動機会の増加を図るため運動広場、遊具等を整備する。



児童運動公園

パークゴルフ場



パークゴルフ場整備事業 4,198万7,356円

カントリーヴィレッジの隣接地にパークゴルフ場を整備する。

面積 9,423㎡
2コース18ホール



一般質問

飛知和良子 議員

一、足湯温泉の設置について

二、空き家対策について



飛知和 パークゴルフ場もオープン致し、村民健康増進につながるスポーツだと。村民全員の方々に利用して頂けるよう又、色んな面であらずさわった方々にこの場をお借りしまして感謝致します。さらにもう一つ健康に良いことを提案させて頂きたいのです。足湯温泉は、温泉の効果は勿論のこと、気軽に利用でき、身体的、精神的にリラックスでき、心臓の悪い人やリウマチ、神経痛、高血圧等効能があると伺っております。健康増進の為に足湯設置をお願いしたい。

産業グループ長 多くの村民から足湯の設置の要望があれば、泉崎観光株式会社筆頭株主であります泉崎村としては株主総会等において予算を確保し、設置出来るよう強く要請し、村としても協力していきたい。

飛知和 設置については、予算関係、場所など十二分に努力し早めの設置をお願いしたい。

村長 村民の要望がどの程度か又場所、お金の問題も

あり又温泉に入って頂きたいということもある。又、湯量の問題、今の温泉に影響がないのか心配である。現在の42℃の温度だと配管すると2℃下がり、40℃下がる。皆さんの要望があれば、お金の問題、議会に相談し、湯量の問題がクリア出来れば真剣に考えていきたい。

飛知和 空き家対策についてであります。今後高齢化が進み次世代の跡継ぎがないという現状で空き家は増えるのではないかと心配致します。関和久地区にも何件もあり、放置しておく

と衛生上、又不用心であり、火事や犯罪にもつながりかねないと住民の方々は心配しておる。今回空き家対策で全県組織を立ち上げ、本県初施策や取組共有又、市町村が空き家対策を進める際、国や県が情報提供や技術的な助言、必要な財政支援など行うとのこと。わが村は、何件の空き家があるのか。具体的に対策を対処していくのか。

産業グループ長 村でも6、7年前に調査した所、27棟というデータであり、不明な点があり、調査途中であるので、今後、空き家物件の調査、整備を行い、早急に事業を実施したい。

飛知和 空き家については近所の方も我慢をしている状態である。役場にも最近苦情が届いていると思うのですが、把握しているのか。

住民グループ長 関和久地区で窓ガラスが割れて放置されている。所有者に対応して頂いた。又、離山地区では樹木が繁茂して、地域の住民の方々に継続して対応をお願いしている。

飛知和 国県でも補助金も出すと言っている。早くに対応して欲しい。

村長 100%補助金の対策費用の内容など、これから計画を早急にまとめて早めに対処出来ればと思います。

産業グループ長 予算的には200万円であり、地域活性化・地域住民生活緊急支援交付金ということで活用している。写真化とか、電子データ化をして、常に情報

提供できるような形で進めたい。

飛知和 200万円の調査費用はたいした額ではない。この補助金制度は次にあるのか。

副村長 調査については、国の方の補助金を頂いて調査する。調査した後に特定空き家というふうになりわけをする。次に所有者に対して、指示をする。あくまでも改善費用や或いは解体費用につきましては、個人処理、個人負担という形になる。個人が負担しない場合、強制撤去も出来るのですが、これは行政代執行という形になり村で予算を組み執行して所有者に請求する。所有者が請求しても払えないという形になると難しい。今後整理しないとまずい。もう一つ更地にする

と、固定資産税の優遇措置が今まで6分の1だったものが無くなる。非常に調査した結果いろんな問題が出てくるので整理していくような形になる。

と、固定資産税の優遇措置が今まで6分の1だったものが無くなる。非常に調査した結果いろんな問題が出てくるので整理していくような形になる。



一般質問

白石 正雄
議員

- 一、 国保負担の軽減について
- 二、 ゴミ収集袋の無料化について
- 三、 税算定の誤りについて
- 四、 安定保障法制の認識について

白石 平成26年度国保会計決算では、収入未済が1億3千570万円となっており、前年と比べ約400万円滞納が増えている。国保負担は昭和58年と比べ、1世帯で約1.5倍負担が増え1人あたりで約3倍に増えている。対策を講じなければ増加する一方でないか。所得割、資産割、均等割、平等割の国保税算定方式を見直し、資産割を廃止すべきである。東京都などは資産割と平等割りをなくし、2方式で算定している。県内でも資産割を外すところが出てきて、現在では福島市・郡山市・伊達市・須賀川市・二本松市・石川町・只見町・天栄村・白河市などが実施している。税務グループ長 資産割廃止自治体は県内で平成26年度15市町村になっている。国保広域化の際に4方式から3方式を目指すとしていたが、現在の所、具体的な方向性が示されていない。平成27年度当初の資産割額は1千117万円になる。

研究会などをつくって具体的に足を踏み出すべきだと考える。国保は国民皆保険制度を実現するための最低の受け皿としてつくられたもの。受益者が負担すべきものという考え方に立てば際限なく国保負担を増やすことになる。市町村が財政援助することが大切でないか。白石 平成20年度でゴミ処理手数料無料の自治体は、県内で32自治体。有料が27自治体。人口で見ると県内の大都市部がほとんど無料なので、県民の圧倒的多数は無料の中で生活していると言っている。無料化に向けて努力すべきでないか。住民グループ長 白河広域圏では可燃ゴミ、不燃ゴミについて処理手数料を転嫁している。西白河クリーンセンターは、平成7年3月に完成。建設資金借入金は平成21年度に完済している。西白河地方リサイクルプラザは、平成16年3月に完成し、借り入れ返済は平成30年となっている。焼却施設

の耐用年数も近づき、ゴミの埋め立て地の造成も考えていかなければならない。平成26年度のゴミ処理手数料徴収総額は1億2千470万円、処理費は10億9千35万円。住民負担軽減対策として、紙製容器・包装専用袋の無償配布、資源ゴミ袋4種の資源化についても検討している。村長 ゴミ袋有料化はゴミの減量化を意識することによって、効果があると言われてきたが、本当にそうなのか、広域圏全体としても議論していきたい。広域圏の事務レベルから分析をすることから始めて行きたいと考えている。白石 284件にのぼる住民税算定誤りは、村に対する住民の信頼を裏切る大変な問題。発生原因究明をしっかりと行い、行政処分も考えるべきでないのか。二度と誤りを起こさない為にどうするのか、再発防止対策、防止マニュアルの策定はどう進められてきたのか。

税務グループ長 平成27年6月17日の納入通知書発送後に異常に気づき、対策を進めてきた。全検証したところ国税申告データが、村から電算処理センターに送られていなかったことが判明。データ喪失の原因は、手作業による移動の際、事務処理の際の操作ミスや連携不足による人的作業の誤りによるものと判断した。再発防止対策として、業務手順に従った作業の順守。チェックシートの使用。全件データ一括取り込みの実施。エラーチェックの点検、修正作業の徹底。過年度付加との比較。これらの項目、作業手順を含めたマニュアルの作成を実施して再発防止に努めます。村長 チェック機能が個人に任されていたというのは甘かったと思う。マニュアル作りが出来ていなかったというのは組織の問題として、指導する我々の認識の甘さもあった。村民の皆さんに本当に申し訳なかったとお詫びを申しあげます。

(7)議会だより 平成27年11月1日

議会の構成決定

平成27年 第3回10月臨時会報告

会 期：平成27年10月6日(火)

議 案 等：選挙3件、議案3件

※議会選挙後初の議会において、議長・副議長及び常任委員会等の議会構成の審議、議案の審議を行いました。



議案第55号	平成27年泉崎村一般会計補正予算(第3号)		原案可決
議案第56号	泉崎村監査委員の選任につき同意を求めることについて 住所 関和久字古寺 氏名 飛知和 良子		同 意
議案第57号	泉崎村監査委員の選任につき同意を求めることについて 住所 泉崎字鶴番小屋 氏名 瀧 昇		同 意

泉崎村監査委員(議会選任)	飛知和 良子
白河地方広域市町村圏衛生組合議会議員	鈴木 盛利、鈴木 清美
農業委員会委員(議会推選)	鈴木 清美

議会議長あいさつ

村民の皆様には、日ごろから村議会に対し、格別のご理解、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

この度、平成二十七年第三回議会臨時会において、議員の皆様のご推挙をいただき、議長の要職に就任する事になりました。誠に身に余る光栄であるとともに責任の重大さを感じております。議長として職務遂行のために全力を尽くす覚悟でございます。

現在、泉崎村は以前と違った意味での注目を集めております。

福島県市町村振興基金の完済、役場庁舎の新築、除染作業の進捗率等が挙げられるかと思えます。しかし、近隣市町村同様、放射能による風評被害の払拭、少子高齢化、自然災害の対応等難題も山積しております。

我々議会議員は各地域の皆様の声を集約し、執行機関と協議して泉崎に住んで良かった、と言う安心安全な村づくりのため、苦難を乗り越えた、村民の皆様、役場職員、執行機関、議会議員の四輪が一つになり目的を確実に見据えて、四wd車の様に進んでいきたいと考えております。

今後共、村民の皆様方のご協力、ご鞭撻を心よりお願い申しあげまして就任の挨拶と致します。



議長 鈴木 盛利



副議長 鈴木 清美

(◎委員長、○副委員長)

《議会運営委員会》

議会の会期決定など多数の議員で運営される議会を円滑、効率的に運営するために設置され、議長の諮問機関でもある。



星 一



飛知和良子



○廣瀬 英一



◎岡部 英夫

《総務厚生常任委員会》

総務課・住民福祉課・選挙管理委員会・監査委員並びに他の委員会に属しない事務を所管とし、財政や税制、財産の管理等、健全財政を堅持し、住民の多様な要望に応えられるよう調査研究を行う。



鈴木 清美



小林 勝衛



星 一



○廣瀬 英一



◎飛知和良子

《経済文教常任委員会》

事務課・教育課・教育委員会及び農業委員会に関する事務を所管とし、住民の生活の基盤となる住環境設備の整備など様々な施策の調査や審議、また村への提案などを行う。



鈴木 盛利



白石 正雄



中野目 正治



○田崎 能信



◎岡部 英夫

「議会中継（録画）及び会議録検索システムが利用できます。」

* 会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

◎映像閲覧延べ件数：映像 4,065件(月/63.5件) ◎会議録 3,408件(月/54.1件)

次期定例会のお知らせ！

12月3日(木)からの予定です。

一般質問は12月8日(火)の予定



4年間よろしくお願いいたします

6月 5日 福島県町村議会議長会定期総会
21日 泉崎村友の会総会

議会活動報告

7月 21日 百歳賀寿贈呈式
22日 圏域市町村長並びに代表議長会議
28日 国道4号線4車線整備期成同盟会総会

8月 3日 町村議会正副議長・事務局長研修会
4日 国道4号矢吹・泉崎地区協議会要望活動
5日 福島県議長会正副会長会議・理事監事合同会議

9月 1日 議会運営委員会

編集委員会
委員長 廣瀬 英一
委員 中野 目正治
委員 田崎 能信
委員 白石 正雄
委員 鈴木 盛利

編集・発行責任者
議長 鈴木 盛利

